

はじめに

我が国においては、2030年代には若年人口が現在の倍速で急減し、少子化に歯止めが利かない状況になるとされており、2030年代に入るまでのこの数年が少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスと言われております。

このような状況の下、2023年4月に施行された「こども基本法」に基づき、基本的な方針や重要事項等を一元的に定める「こども大綱」の策定及びこれまでの少子化対策を踏まえた「こども未来戦略」が2023年12月に閣議決定され、2026年度までを少子化対策の集中取組期間と位置付け、児童手当の拡充等、様々な施策が実施されているところです。



これまで宇治市では、妊娠期からの切れ目のない支援の取組として、妊娠8か月時と出産時の全員面談の実施や産後ケア事業の拡充、こども誰でも通園制度等を実施するとともに、配慮が必要な家庭や児童への支援として、児童虐待やヤングケアラーへの対応、家事支援等の子育て世帯訪問支援事業を行ってまいりました。また、子ども・子育てにやさしいまちの実現に向け、子どもが持つ能力や可能性を最大限に伸ばせるよう、様々な体験や経験ができる環境を作ること、地域で大人たちが子どもや子育てを見守り、まち全体で子どもの育ちを支える風土を醸成することが何よりも重要であると考えており、令和3年度から「子育てにやさしいまち実現プロジェクト」を開始し、モデル地域からその取組の輪を市内全域に広げ、プロジェクトの推進を加速させてまいります。

そうした中、子育て・子育てにやさしいまちづくりのさらなる推進を目指し、令和11年度までの指針となる「宇治市子どもまんなかプラン」を策定しました。

本プランでは、子どもの成長を地域全体で支える風土、子育てにやさしい環境を、子ども、子育て世代、関係機関、行政の「みんな」で作り上げていく、という考えを込めて、「みんなでつくる 子どもの夢と笑顔を育むまち 宇治」を基本理念と定めております。

今後は、このプランに基づき、子育てに対する支援の充実に取り組むとともに、子育て・子育てを支える環境や機運が市全域に広がるよう、地域や関係機関の皆様と連携して取り組んでまいりたいと考えております。本プランの推進に向けまして、市民の皆様の一層のご理解、ご協力をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本プランの策定にあたりまして、「宇治市子ども・子育て会議」の委員の皆様や、ニーズ調査や市民意見募集に際して、貴重なご意見やご提案をいただきました皆様方に厚く御礼を申し上げます。

令和7年3月

宇治市長 松村 淳子

内容

第1章	計画の概要	1
1	計画策定の背景及び趣旨	1
2	計画の位置付け	3
3	計画策定の経過（策定体制）	4
4	計画期間と進行管理	4
第2章	宇治市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題	5
1	人口と出生率等の状況	5
2	世帯と就業の状況	15
3	保育所（園）・認定こども園・幼稚園の状況	21
4	子育て支援事業の状況	25
5	その他の状況	28
6	「第2期子ども・子育て支援事業計画」の成果と課題	34
7	「子どもの貧困対策推進計画」の成果と課題	37
第3章	計画の基本的な考え方	38
1	計画の基本的視点	38
2	基本理念	39
3	基本目標	40
4	施策の体系	43
第4章	施策の展開	45
基本目標1	「子どもまんなか」のまちづくりの推進	45
基本目標2	安心して子育て・子育てができる切れ目のない支援の充実	50
基本目標3	配慮を要する家庭へのきめ細やかな取組の推進	65
基本目標4	人と人とがつながる、子どもにやさしい地域づくりの推進	68
基本目標5	誰もが健やかに成長できる環境づくりの推進	78
第5章	教育・保育等の「量の見込み」と「確保方策」	84
1	教育・保育等の「量の見込み」と「確保方策」について	84
2	提供区域の設定	85
3	国が示す計画の対象事業	86
4	教育・保育事業	87
5	地域子ども・子育て支援事業	90

第6章	計画の推進	108
1	計画の実現に向けた役割	108
2	計画の推進	110
3	計画の進捗状況の管理・評価	111
資料編		112
1	ニーズ調査の結果と分析	112
2	宇治市子ども・子育て会議委員名簿	178
3	宇治市子ども・子育て会議条例	179
4	宇治市子ども・子育て会議の開催経過	181
5	用語解説	183